

当社は、令和元年8月24日、藻岩山ロープウェイにおいて運行中の搬器が支柱に衝突し、車内で転倒したお客様が負傷するという事故を発生させてしまいました。改めましてお怪我をされた方々にご家族の皆様、ご利用のお客様、関係の皆様に、大変なご迷惑とご心配をおかけしましたことを心より深くお詫び申し上げます。

この事故は、モーターの電流を制御している装置が故障を検知して非常ブレーキが動作した際に、整備作業時のブレーキ調整が適切に行われていなかったため過剰な急ブレーキとなったことにより発生したものでした。事故発生後の対応につきましても、利用者の皆様をはじめとした社外への情報提供等及び弊社内部での連絡がスムーズに行われない状況となり、また、部品の調達や交換にも時間を要しました。このような事故を引き起こしたことを深く反省し、索道輸送の安全確保のため、整備実施体制・社内安全管理体制・専門人材の育成などの改善に取り組んでいるところです。

これからも安全を最優先に、安心、信頼してご利用いただけるロープウェイを築き上げてまいります。

令和2年2月28日

株式会社札幌振興公社
代表取締役社長 板垣昭彦

《再発防止の取り組み》

1 整備実施体制の強化

- ① 整備実施時の、事前の内容確認、作業中の確認、完了時の検査を徹底します。
- ② 故障発生時には、メーカーとも連携して根本原因の追究や対策実施に取り組めます。また、必要な予備品を常に確保します。
- ③ 整備作業が確実に実施されるように、整備マニュアルの整備を行って活用するとともに、マニュアルの改訂・内容の充実を定期的・継続的に行います。
- ④ 外部で実施する技術講習会に積極的に参加するなどして、社員の技術力向上を図ります。

2 社内安全管理体制の強化

- ① 社長以下の経営層がリーダーシップの重要性和関連法令の遵守、コンプライアンス体制の構築の必要性の認識を深め、社内全体に安全意識を定着させるため、安全管理体制の見直しと更なる充実に取り組めます。
- ② 情報を速やかに社内へ周知、徹底を図るための連絡体制に見直しと共に、指揮命令系統を明確化し社外（関係機関）への連絡体制も見直します。
- ③ 事故発生等に備えた訓練内容を充実させて実践的な訓練を行い、定着化を図ります。

3 専門人材の育成

- ① 教育・訓練の際に実施効果の測定（確認試験、アンケート等）を行い、効果が浸透していることを確認します。
- ② 専門的知識の向上を図るため、電気主任技術者等の資格取得を推進します。

なお、取り組みの進捗状況等については、安全報告書の中で公表を予定しております。